

エッセンス・オブ・プロジェクトマネジメント
課題のマネジメント 問題

- 1 課題の定義として、適切なものはどれか。
 - A プロジェクトの進捗に悪い影響をもたらし、合意に至らない公式に定義された問題
 - B プロジェクト・チームが容易に解決することのできない、プロジェクトの進捗に悪い影響をもたらす公式に定義された問題
 - C プロジェクトの進捗に悪い影響をもたらし、解決策が定式化できる公式に定義された問題
 - D プロジェクトの進捗に些細な影響をもたらす公式に定義された問題

- 2 問題解決の良いテクニックではないものはどれか。
 - A 石川ダイアグラム
 - B デルファイ法
 - C 根本原因分析
 - D 魚の骨ダイアグラム

- 3 課題解決のよい方法がない場合の代替案として、適切ではないものはどれか。
 - A 悪い代替案のなかから判断する。
 - B 長期的に良いと思われる解決策を選ぶ。
 - C 他よりも痛みが少ない解決策を選ぶ。
 - D プロジェクト・マネジャーが好ましいと思う代替案のみをスポンサーに提示する。

- 4 チーム・メンバーが自分一人で判断ができるケースはどれか。
 - A 技術的な解決策がうまくいかないが、そのメンバーのスケジュールを遅らせれば解決することができる。しかし、その解決策をとると、そのメンバーは、次のコーディングの作業を急ぐこととなる。両方のタスクが完了したら、スケジュール通りになる。
 - B 技術的な解決策がうまくいかず、新規にソフトウェアの購入を必要とする場合。
 - C 技術的な解決策がうまくいかないが、そのメンバーがスケジュールを遅らせることなく解決することができる場合。
 - D プロジェクトの技術的な解決策は、プロジェクト・スポンサーの個人的な友人からのソフトウェア製品に基づくものである。現在の技術的な解決策ではうまくいかないが、メンバーは必ずうまくいく別なアプローチを知っている。それはスケジュール内で実施することができ、予算にも影響しない。

- 5 石川ダイアグラムの利点として適切なものはどれか。
 - A 原因のさまざまな種類のカテゴリーを調べる
 - B ブレーンストーミングのプロセスを通して創造性を発揮する。

- C 問題と潜在的な原因のカテゴリーを視覚化する。
D 上記すべて
- 6 契約社員が突然、退職した。この結果、進捗が遅れ、適切な代替りの要員がプロジェクト・チームに入るまで進捗の遅れは続くことが予想される。この例を表すものはどれか。
A 課題
B リスク
C アクション項目
D 欠陥／バグ
- 7 マーケティング部と営業部と新たに月次会議をもつことが会議にて決まり、それを反映するためにコミュニケーション計画書を更新することとなった。この例を表すものはどれか。
A 課題
B リスク
C アクション項目
D 欠陥／バグ
- 8 「なぜなぜ」質問をする問題解決のテクニックはどれか。
A 石川ダイアグラム
B パレート分析
C 根本原因分析
D 魚の骨ダイアグラム
- 9 問題を観察し、発生の頻度を判断し、最も影響がある分野に労力を使う優先順位づけを行う問題解決のテクニックはどれか。
A 石川ダイアグラム
B パレート分析
C 根本原因分析
D 魚の骨ダイアグラム
- 10 課題マネジメントの欠如の結果起こることとして、適切でないものはどれか。
A 課題の特定の方法を理解しない。
B 課題の特性を理解しない。
C 問題解決の優れたテクニックを理解しない。
D 将来に起こるであろう事象の分析方法を理解しない。